

日本脳炎の定期予防接種の実施について

北海道では、平成28年度から定期予防接種として日本脳炎予防接種を実施しています。また、予防接種実施規則に基づき、対象者を拡大した特例措置（制度終了：令和6年度）が設けられており、生年月日により接種できる期間が異なりますので確認をお願いします。



定期接種対象者	3歳から13歳までの方 (平成21年10月2日以降に生まれた方)	【特例対象者（令和6年度まで）】 平成19年4月1日以前に生まれた方
1期接種 (3回接種)	年齢：3歳以上7歳6か月まで 標準的な接種年齢 1回目 3歳～4歳まで 2回目 1回目から6～28日空ける 3回目 2回目からおおむね1年空ける	20歳に達するまでの間に、1期、2期の接種ができます。 1回目 任意の時期に接種 2回目 1回目から6日以上空ける 3回目 2回目から6か月以上空ける
2期接種 (1回接種)	年齢上限：13歳まで 標準的な接種年齢：9歳～10歳 ※1期の3回目接種が終了していない場合も、9歳～13歳に2期の接種ができます。	年齢上限：20歳まで 接種間隔：1期の3回目接種から概ね5年～10年あけて1回 ※制度上は、1期3回目接種の6日後から接種可能ですが、概ね5年～10年で接種することで抗体が維持できます。 ※接種を1回でも受けている場合は、残りの回数を6日以上あけて接種します。
接種場所 ・ 接種日 ・ 接種時間	・門別国保病院 小児科 (接種日) 12月7日(水)、令和5年1月11日(水)、 2月8日(水)、3月7日(火) (接種時間) ①15:00～15:30 (定員10名) ②15:30～16:00 (定員10名)	・門別国保病院 内科 (接種日) 12月14日(水)、令和5年2月14日(水) ・富川国保診療所 (接種日) 12月26日(月)、令和5年2月27日(月)、3月31日(金) (接種時間) ※門別・富川共通 ①15:00～15:30 (定員10名) ②15:30～16:00 (定員10名)
	・日高国保診療所 ・接種日 毎週水曜日 ・接種時間 13:00～13:15	・日高国保診療所 ・接種日 毎週水曜日 ・接種時間 13:00～13:15
料金	無料	
予約	要予約。下記のお申し込み先へ予約をお願いします。	
注意事項	いずれも過去に規定回数の予防接種を受けた方は対象になりません。	

☎・問 役場子育て健康課 健康増進グループ ☎ 01456-2-6571
総合支所地域住民課 健康・介護グループ ☎ 01457-6-3173

林業退職金共済制度（林退共）へ加入しませんか

林退共は、昭和57年に発足した林業界で働く方のために国が作った退職金制度です。

この制度は、事業主の方々が、従事者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その従事者が林業界をやめたときに林退共から退職金を支払うという、いわば林業界全体の退職金制度です。

林退共制度の特長

- ① 掛金は、税法上について、法人では損金、個人企業では必要経費になります。
- ② 掛金の一部を国が免除します。
- ③ 雇用事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

お問い合わせ

林業退職金共済事業本部
電話 03-6731-2889

ホームページでも
ご案内しています
<https://www.rintaikyo.taisyokukin.go.jp/>





健康増進だより

～はつらつ笑顔 元気な暮らし 日高町～

◎日高町役場 子育て健康課

☎ 01456-2-6571

◎日高総合支所 地域住民課

☎ 01457-6-3173

気を付けよう！薬の重複投与

2022年1月号では「重複投与（同じ成分や効果の薬と一緒に飲んでしまうことの危険性）」についてご紹介しました。しかし、気を付けなければならないのはこれだけではありません。「薬と食事」の関係も気を付けなければいけないことがたくさんあります。

今回は「薬と食事」について、あ
おば調剤薬局門別店、富川店の薬剤
師さんから紹介してもらいます。



食事と薬の関係に要注意！

気をつけなければならない代表的な事例として、血液を固まりにくくし、血栓が出来るのを防ぐ「ワルファリン」という薬が挙げられます。ワルファリンは血液を固まりやすくさせるビタミンKの働きを阻害することにより血液を固まりにくくする作用があります。ところが「納豆」や「青汁」はビタミンKを多く含んでおり、一緒に飲んでしまうとワルファリンの効果を減弱させてしまうため、服用中は摂取を避けるようにしなければなりません。

もう一つ、注意が必要な飲食物があります。それは「グレープフルーツジュース」です。グレープフルーツジュースは多くの薬と相性が悪いです。

多くの薬は体内に入ると、代謝酵素で分解され、次第に効き目を失って体の外に排出されます。しかし、グレープフルーツジュースに含まれる成分が代謝酵素の働きを邪魔してしまい、予想よりも強く薬の効き目が表れてしまいます。そのため予期しない副作用を引き起こす可能性があり、注意が必要です。ごく一般的に使われている降圧薬や免疫抑制剤にも相互作用を起こしてしまう可能性があります。納豆やグレープフルーツジュースの薬への影響は数日続くと言われており、薬と一緒に飲まなければ良いというわけではありません。

薬を飲まれている方の中には、食事も一つ一つ気を付けなければならないと不安に思う方もいるかもしれません。心配な場合は薬剤師にご相談下さい。お薬を渡す際には注意すべき食べ物と一緒に説明いたしま

す。またサプリメントなどを飲み始めるときにも、あ
おば調剤薬局に是非ご相談下さい。

もう一つの重複投与

これまでは「薬と薬」と「薬と食事」の関係性について紹介しました。しかし、「重複投与」が意味することはこれだけではありません。

皆さんは、飲み忘れや受診間隔のズレによる処方薬の残りはないでしょうか。手元に薬がある状態で医療機関を受診し、必要以上に手持ちの薬がある状態も「重複投与」の危険性がある状態と言えます。

事例（残薬調整）

飲み忘れた薬が溜まっていく代表的な事例として、頓服薬が挙げられます。例えば2か月に1度の受診で10回分の頓服薬を処方されても、その時々調子で飲まない日が続くと、飲み忘れていないわけでもないのに残薬が溜まっていきます。「いつか飲むかも…」、「残薬は数回分だから気にせず次も10回分貰おう…」と繰り返していくうちに膨大な残薬となることがあります。

このようなときには、「薬局に全ての薬を持っていく」ことをお勧めします。薬剤師が薬の数や種類を整理することで薬の管理がしやすくなり、飲み忘れや飲み間違いの防止に繋がります。

また、その際には「かかりつけ薬剤師」をご活用ください。薬を全て管理してくれる薬の担当者であるかかりつけ薬剤師にお願いすることにより、よりスムーズに残薬を整理することが出来ます。冒頭に説明した食事の影響による重複投与についても発見の可能性を増やすことができます。

より安全に、よりスムーズに皆様の生活をサポートできるような制度となっていますので、まずはあおば調剤薬局にお問い合わせください。



問 あおば調剤薬局門別店 ☎ 01456-3-9000
あおば調剤薬局富川店 ☎ 01456-3-2266